



以前より、お墓の傷み具合が気になって仕方ありませんでした。亡き主人の25年忌を今年迎えることもあり、お墓を新規にすることを思い立ちました。お墓のことにしましては何もわからないことだらけです。ただ、私の姪がお墓の「さんわ」をしていることもあつ

日出町店

日出町日出
岡部 豊子様
勝彦様



「さんわ」さん
ありがとうございます！

て、とても心強かったです。一つ気がかりなことは、主人の兄弟で小さいころに亡くなった方がいると聞いていました。お墓を解体したとき納骨室の中に、その方のしるしが入っていました。法名もなく、かわいそうに思ってお寺様に相談すると、法名を下さいました。多分、主人の兄にあたる方だと思いますが、これで長年の思いがなくなって心穏やかになりました。これで、私どもの責任は果たせたかなと思います。主人、岡部家の御先祖様もとても喜んでくれていると思います。



蓮華寺 花祭り

4月8日、御手洗さんをはじめお世話人のお骨折で今年も盛大に立派な花祭りが執り行われました。8日は小雨で天気の方は少しばかり残念でありました。

森町店

佐々木住職の法話も「お釈迦様がお生まれになられて、すぐに7歩歩まれて仏像のように右手の指先を天に、左手の指先を地面にむけて、天上天下唯我独尊と言われました。その意味するところは、命あるものはそれぞれに尊い二つとす。



どうか皆さんそのことに気づいて大事にしてください。来年も、もっと盛大になりますように・・・

四月八日はお釈迦様の誕生日 4大聖地

お釈迦様は2600年前前に現在のネパールのカピラヴァストウというところの釈迦族の王子としてお生まれになりました。お母さんがお産のため実家に帰る途中の **ルンビニー** というところでした。29歳でお城を出て、厳しい修行などなされた後、ついに35歳で**ブッダガヤ**の菩提樹の下で覚られました。

それから、かつて一緒に修行をしたことのある人たち(5人)の所、**サールナト**に行き覚られた真理(法)を初めて説きました。この後45年間、80歳までインド各地をその人々に合った方法で法を説いて回り、**クシナガラ**というところでその尊い人生を終わられました。



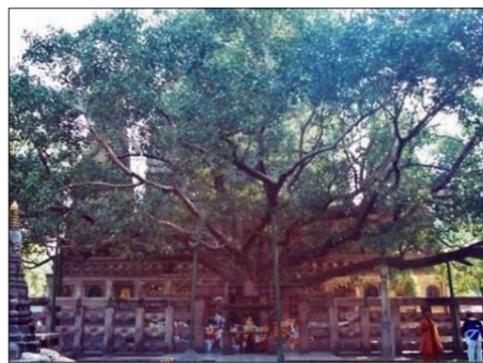
お釈迦様の生まれた場所しるしがつけてあった石が発見されています



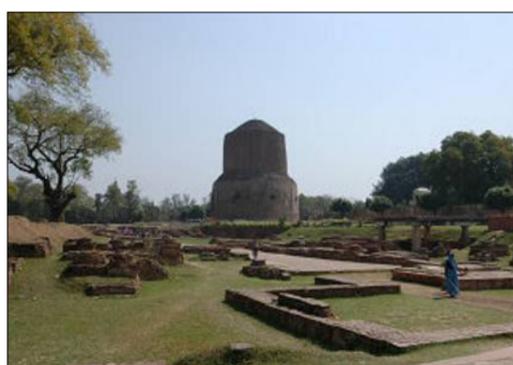
お釈迦さまの生誕の地 摩耶夫人は出産前に沐浴した **ルンビニー**の菩提樹と池



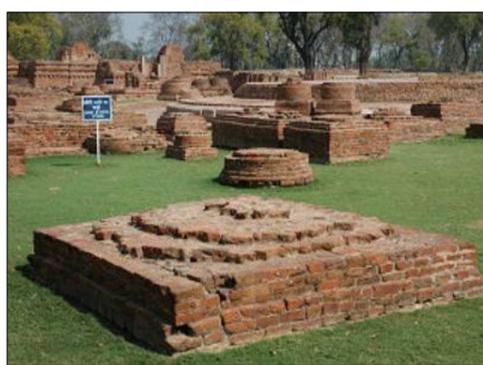
成道の地 **ブッダガヤ** マハーボーディー大塔



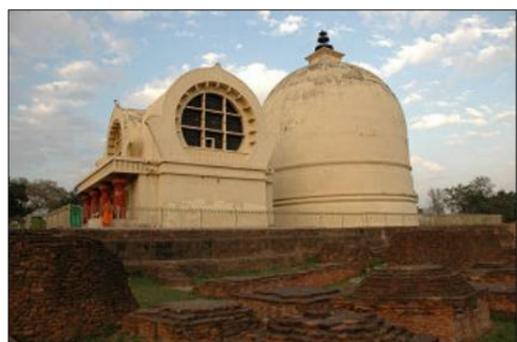
初代菩提樹は枯れてしまっていて、今の菩提樹は初代から分けられたスリランカの菩提樹から挿し木したものの



仏陀が初めて説法をした(初転法輪)ところ



彼らに説法をしたことで初めて言葉となり、教ええとして世界に広まって行きます **サールナト**



生まれ故郷に向う途中この地で亡くなる。釈尊入滅の地 **クシナガラ**



茶毘茶毘 **茶毘塚** お釈迦さまを茶毘にふしたところ